

高速道路の新料金制度で本州四国連絡道路が割高に設定されたことを受け、自民党の地元関係国会議員らは23日午前、党本部で会合を開き、新制度に反対する会をつくった。近く前原誠司国土交通相

## 末松、西村氏ら 自民議員が会合

に料金制度を見直すよう申し入れをする。

兵庫、岡山、広島と四国4県に關係する25議員が賛同。会合には兵庫選出の末松信介参院議員、西村康稔衆院議員を含む10人が参加した。

冒頭、呼びかけ人の中谷元

## 「本四道路値上げ反対」に相入れ 国交申し

衆院議員＝高知2区＝が「料金格差についての説明も十分でなく、与党内や現職大臣からも異論が出ている。政治責任を問い、統一行動をとっていきたい」と述べた。

その後、新料金制度案を撤回し全国同一料金に設定する▽フェリーについては別途予算措置し手当てするーの2点を国交相に要望することを決めた。28日に直接、国交相に手渡すという。

国交省は、6月に導入する高速道路の上限料金で、本四道路をほかの高速道路よりも普通車で千円高い3千円などとしている。(山崎史記子)